

第5次井原市子ども読書活動推進計画 ～いばらいきいき読書プラン～



各推進主体【 家庭・学校・市立図書館・地域 】の役割や主な方策
及び、井原子ども読書推進実行委員会の役割 （◎役割 ○主な方策）

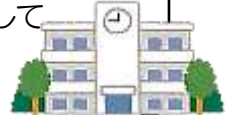
家庭

- ◎身近に本がある環境をつくり、親子が一緒に読書に親しむ機会を多くもち、子どもが本と出会うきっかけをつくります。
- 家読等の読書活動を通じて親子の時間を共有するよう努めます。
- 生活リズムを整え、読書の時間を確保するようにします。



学校園

- ◎家庭や地域と連携して読書活動を推進します。
- 発達段階に応じた体系的な読書指導や環境整備に取り組みます。
- 学校司書と協力して読書の時間を確保したり、読書関連行事を工夫したりして、本好きな子どもを育てます。

めざす
子ども像

自ら本を読む子ども
読書を通じ自分の生活をより豊かにできる子ども

不読率の
目標値 令和 11 年までに
0%

発達段階における目標（要約）

乳幼児期

絵本との出会いや読み聞かせなどを通じて、子どもが本に親しんだり、それらを読んでくれる大人たちとふれあったりすることで、本や読書活動が好きな子どもを育てます。



小学生期

読書の楽しさを感じたり、読書を通じて学ぶ経験をしたりすることで、読み聞かせから読書への移行を支援し、子どもの読書意欲の向上や読書習慣の基礎づくりを図ります。



中学生期以降

さまざまなジャンルの本との出会いなどを通じて、単に学習のための読書という枠を越え、自らの興味・関心や目的に応じた幅広く専門的な読書や読書活動ができるよう支援します。



推進主体の連携

推進主体の連携

市立図書館

- ◎気軽に図書館を利用できる雰囲気づくりと、いつでも図書と出会う環境づくりを行います。
- ブックスタート事業・セカンドブック事業を実施し、本の好きな子を育てます。併せて保護者啓発も行います。
- 市内3館・移動図書館車「さくら号」の図書の充実を図り各学校園や公民館などの公共施設への団体貸出を一層進めます。
- 読書ボランティアの拡大を図ります。



地域

- ◎公民館等で、読書活動の会場の提供や、ニーズに応じた講演やイベントの開催、読書ボランティア活動を行います。
- 読書ボランティアは、家庭・学校園・市立図書館・子育てに係る団体（幼児教育学級・家庭教育学級、放課後児童クラブ等）が行う読書活動を積極的に支援します。



○推進体制の整備

○各推進主体の連携強化

○読書活動推進の啓発

井原子ども読書推進実行委員会